

みやぎ社保協 FAXNEWS

2024年7月5日 Fri No.1012

「人権としての社会保障制度」 の運動推進を！

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-5-13

宮城県社会保障推進協議会

Tel 022-223-0566 / Fax 022-223-0977

e-mail miyagisyahokyo@bz04.plala.or.jp

第29回宮城県社会保障推進協議会総会開催 “県内あらゆる地域に社保協を！”



県社保協第29回総会が会場とWEBのハイブリットで開催され、16団体30名が参加しました。

昨年に引き続き今回の総会でも、この一年ともに活動してきた方々をゲストに迎え、最高裁判決を前に優生保護裁判のたたかひの報告と支援の訴え、精神障害者のくらしと医療を考える仙南ネットワークからは、4病院再編で県立精神医療センター富谷市移転反対の取り組みと訴え、地域医療を考える会（白石）からは、刈田病院公設民営化一年を経過した状況について共有しながら、加盟団体の取り組み報告などの発言を受けて、幅広い分野での活動を踏まえた運動の展望が語られ方針の補強されました。

討論では8名が発言。塩竈市国保資格証に関する市職員の不適切な対応問題やコロナ禍で活動が停滞した大崎社保協の2年ぶりに行われたキャラバン報告に続き、各団体からインボイス制度施行後の実態、非正規雇用が引き起こしている労働者実態や最賃課題、障害共同作業所をめぐる実態改善を求める運動等々、4病院再編に関連して県議からは議会論戦等の発言もありました。

県社保協副会長の閉会の挨拶では「社会保障費で富の再分配を行うことが重要」と訴え、この1年をともに歩んでいこうと述べ閉会しました。

STOP！利用者負担増！敬老乗車証問題連絡会主催 敬老乗車証を使って、乗って わたしのマチの公共交通を守ろう！



7/1（月）市福祉プラザを会場に、今年10月に敬老乗車証の利用者負担2.5倍中止を求め学習会が開かれ60名が参加しました。

講師には連絡会共同代表の岩倉政城氏を迎え、今年10月実施予定の利用者負担増が福祉課だけの観点で進められてきたことを強調しながら、公共交通のあり方や、敬老乗車証の社会性を環境や街作り等の視点を交えて制度価値を強調しました。

第5回仙台市交通事業経営検討委員会

7月12日（金）10時00分～12時00分

仙台市交通局本庁舎7階研修室

【議題】・新たな収支見通しの検討等